

NICHIGO、除雪機・産業車両塗装作業 曙工場に集約・内製化

ツイート [シェア0](#) LINEで送る

(2018/9/27 05:00)



新設した曙工場の塗装設備の一部

【札幌】NICHIGO（札幌市手稲区、鈴木隆好社長、011・681・3116）は、除雪機や産業用車両の塗装作業を曙工場（札幌市手稲区）に集約し、内製化する。塗装設備を新設した曙工場に、稲穂工場（同）の部品塗装作業を集約し、塗装品質を向上する。内製化により外部委託費も年間約1億円削減する。外部からの部品塗装も受託していく考えだ。

NICHIGOは6月、除雪機や産業用車両の新車や部品の塗装用に、曙工場に建物を含めて6億円弱を投じ、塗装設備を稼働した。

塗装品質を高めるため、リン酸亜鉛処理装置を導入。部材表面の塗料の密着度が高まり、腐食を防ぐ効果があるほか腐食しても広がりにくいという。

従来は稲穂工場で、部品を手作業により表面を粗くしたり、塗装したりしていた。曙工場に塗装設備を設けたことで、近く曙工場に部品塗装の作業を集約する。すべての作業が機械化され工程管理がしやすくなる。

従来と比べて塗装能力は1・5倍に増強する。部品の一部は外部に塗装を委託していたが、内製化によりコスト削減につながる。



また、新設備の設置を機に外部からの部品塗装の受託サービスも始める。塗装設備の処理能力のうち、余力を外部の部品塗装に振り向けることで新たな収益源にする。

NICHIGOは除雪機と産業用車両のメーカー。株主は川崎重工業（出資比率75%）といすゞ自動車（同25%）。

(2018/9/27 05:00)